

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和7年第2回宮城県鳴子警察署協議会
開 催 日 時	令和7年5月21日（水）午前10時00分から 午後2時00分まで
開 催 場 所	宮城県鳴子警察署大会議室 岩出山地区公民館
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～ 高橋寿 千葉暢子 鎌田清志 大崎佳子 ・ 欠席委員～ なし 2 警 察 署 側 署長 会計課長 警務課長 刑事課長 交通課長 警備課課長代理
議 事 概 要	1 報告事項 (1) 管内の治安情勢等について（署長） 署長から、令和7年4月30日現在における刑法犯認知・検挙件数、交通事故等の管内の治安情勢についての説明がなされた。 委 員：高速道路の逆走や建物に突っ込む事故が発生しているが、県内の状況は如何か。 署 長：先般、東北自動車道においても発生しており、予断が許されない状況である。 委 員：視覚情報を正しく処理できないことが原因と思われるが如何か。 署 長：ご指摘のとおり、要因の一つと思われる。 委 員：間違っ逆走してしまった場合、どのような措置を取ればよいか。 交通課長：路肩に停止し、110番通報をお願いする。 委 員：刑法犯の認知と検挙状況であるが、抑止と検挙の効果が数字として現れている。 交通死亡事故についても500日以上発生していない。 引き続き、地域の安全と安心確保のためよろしくをお願いします。 委 員：鳴子温泉の駅前交差点等において、横断者がいるにもかかわらず止まらない車両が目につく。 地域の住民からも同様の声が寄せられているので、対策をお願いします。

	署 長：承知した。 2 鳴子有備塾の訓練状況の視察 岩出山地区公民館で開催された若手警察官の育成を目的とした鳴子有備塾の開講式に来賓として出席し、訓練状況の視察を行った。 3 意見・要望 委 員：鳴子警察署管内の刑法犯認知件数が減少傾向でありとても良いことである反面、そのような情勢が続けば警察署の存続が懸念されるのではないかと住民として不安である。 署 長：警察本部において、数年前に住民説明を行ったことについては引継ぎを受けている。 地域の皆さんから話を聞いたり、警察本部としての施設整備を踏まえながら、将来にわたる治安維持のために何が最適であるかを常に検討しなければならないと考えている。
備 考	